様式第2号（第6条関係）　　（準要保護認定用）

収入額調書

保護者氏名	住　所	児童生徒氏名	学校名・学年
	曽於市　　町 番地		学校　第　　学年
			学校　第　　学年
			学校　第　　学年
自治会名	自治会		学校　第　　学年
電話番号	－　　－		学校　第　　学年

児童生徒以外の世帯者氏名 （生計を同一にしている方全てについて記入すること）	収　入　（もれなく記入してください）						
	主たる収入額（年額）A	年金など（年額）B	児童手当（年額）C	児童扶養手当（年額）D	その他（年額）E		小　計 A+B+C+D+E
（保護者名）	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
	円	円	円	円	1．アルバイト　2．養育費 3．その他（　　）	円	円
					総　　計		円

以上，相違ありません。　　保護者氏名　　印

記入上の注意

1　収入については，平成31年1月から令和元年12月までの収入です。A欄は課税台帳記載事項証明書を御確認の上，御記入ください。
2　E欄を記入する場合は，必ず該当する1～3のいずれかの番号に○をつけてください。また，3．その他に該当する場合は（　）に事項を記入してください。
3　世帯者氏名欄には，生計を同一にしている世帯（住民票の世帯ではなく実際の世帯）の児童生徒以外の方を全て記入してください。
4　A～E欄の金額につきましては，必ず通知書・通帳等を御確認の上，お間違えのないようにお願いします。
5　実態との相違があった場合，支給済の援助費を返還していただく場合があります。

【提出書類②記入例】

様式第2号(第6条関係)

(準要保護認定用)

記入例

収入額調書

保護者氏名	住　所	児童生徒氏名	学校名・学年
曽於　太郎	曽於市　○○　町　○○ △△　番地　△△	曽於　一郎	○○中学校　第　3　学年
		曽於　二郎	○○中学校　第　2　学年
		曽於　三郎	△△小学校　第　4　学年
自治会名	○△×　　自治会		学校　第　　学年
電話番号	○○○○　－　○○　－○×○×		学校　第　　学年

児童生徒以外の世帯者氏名 (生計を同一にしている方全てについて記入すること)	収　入　(もれなく記入してください) 主たる収入額(年額) A	年金など(年額) B	児童手当(年額) C	児童扶養手当(年額) D	その他(年額) E		小　計 A+B+C+D+E
(保護者名)	円	円	円	円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	円
曽於　太郎	×××,×××円	0円	××,×××	円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	×××,×××円
曽於　花子	0円	0円	0円	0円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	×××,×××円	×××,×××円
曽於　キク	0円	×××,×××円	0円	0円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	×××,×××円
曽於　四郎	0円	0円	0円	0円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	0円
	円	円	円	円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	円
	円	円	円	円	1. アルバイト　2. 養育費 3. その他(　　)	円	円
					総　　計		×,×××,×××円

以上，相違ありません。　　保護者氏名　　曽於　太郎　　印

記入上の注意

1　収入については，平成31年1月から令和元年12月までの収入です。A欄は課税台帳記載事項証明書を御確認の上，御記入ください。
2　E欄を記入する場合は，必ず該当する1～3のいずれかの番号に○をつけてください。また，3. その他に該当する場合は(　)に事項を記入してください。
3　世帯者氏名欄には，生計を同一にしている世帯(住民票の世帯ではなく実際の世帯)の児童生徒以外の方を全て記入してください。
4　A～E欄の金額につきましては，必ず通知書・通帳等を御確認の上，お間違えのないようにお願いします。
5　実態との相違があった場合，支給済の援助費を返還していただく場合があります。